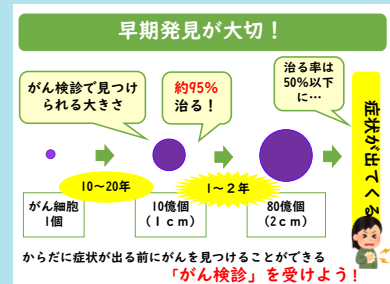


## がん教育実施報告書

学校名	郡山市立緑ヶ丘中学校	
実施対象者 (学年・保護者など)	2年生(生徒85名)	
教育課程の位置づけ	その他(総合的な学習の時間)	
実施日時	令和8年1月23日(金) 13:35 ~ 14:25	
打合せについて	【1回目】方法: 電話 内容: 講話の依頼と講話の内容について	
	【2回目】方法: 電話 内容: 事前調査の結果と資料の確認	
外部講師 職・氏名	職名 郡山市保健所 中央保健センター 保健技師	
	氏名 佐々木 綾乃 秋元 綾菜	
実施内容	<p>テーマ:「がん教育講習会」(がんについて学ぼう!)</p> <p>1、がんの仕組み 細胞分裂した際に悪化したものが「がん」であることや発症までの期間、がんの種類などについて説明された。</p> <p>2、日本のがんの現状 2人に1人は「がん」になり日本の死亡原因の1位であることなどについて。</p> <p>3、がんの予防 がんの主な原因と生活習慣(喫煙、飲酒、肥満、塩分の取りすぎなど)自分で気をつけることを詳しく説明し、たばこのタールの入った瓶を見せてくれた。</p> <p>4、早期発見と検診の重要性 グラフにより郡山市の受診状況を全国と比べ低い状況であること。早期発見のために健診を受けることが大切であることなどを説明された。</p> <p>5、もしもがんになったら 早期治療で9割以上が治ることや治療法や体と心の痛みを緩和する方法や支援があることを詳しく説明され、がん患者の理解ある社会づくりについて話された。</p>	
	成果等	<p>「生徒の学習のまとめ(アンケート結果)」から がんは身近な病気だと思った生徒が約97%、早期発見で治りやすいと思った生徒が約99%であった。「保健の授業で学んだことに関連づけながら理解を深められた。」「がんについて意識することが今までなかったが、がん検診やがんを予防するための生活の仕方について詳しく知ることができた。」「大人になって検診を受けようと思った。」「家族のためにも生活習慣を整えたい。」などの多数の回答があった。</p> <p>「外部講師の良さ」 ・沢山の資料を用意され、イラストや写真、グラフなどで具体的に丁寧に説明していただいたことで、どの生徒も分かりやすく、がんについて理解が深まった。また、タールの実物がとても衝撃的で大変良かった。</p>



様式2